

道具の探索に時間がかかっていませんか？ よく使うモノの格納場所・格納方法を確認しましょう！

胆振農業改良普及センター

モノを探すのに1日5分かかったとしたら、1ヶ月で2.5時間。見つからなければ買い替える手間とコストが発生します。また、無くした場所によっては、出荷物への異物混入や事故・けがの要因(リスク)にもなりかねません。

GAP手法「リスク検討」 何か事が起こる前にリスクを把握・検討し未然に防ぐ

把握する	評価する	対策をねる	実践する
たとえば、 収穫包丁の管理が雑	リスクの危険度、緊急度 などを考える	改善策を考える みんなができるしくみをつくる	やってみる
たまに本数が合わなくてあせる！ 	紛失したら超ヤバ！ (緊急度高) 	・保管場所を一カ所に固定化！ ・「収穫包丁」って掲示！ ・リーダーが仕事終に必ず数をチェック！ などなど 	ほ場のみんなが実践できているか効果を確認 

実践例 見えやすく一カ所に道具を格納する



事例① 収穫用包丁の格納場所
保管庫内の壁面付けた磁石に包丁を貼り付けて保管

刃物の取扱で心配がある時は、注意喚起の掲示やリスク検討を！



事例② 工具の格納
ベニヤ板+釘で工具をみせる収納
規格が見やすくスマートに取り出し可能

保管場所に道具の名前を書いて貼ることも有効です。ビニールテープや文字を書けるマスキングテープなどは、貼り替えも可能なのでおすすめです。